

# 事業計画書

9

事業名	生活に役立つ「暮らしとお金の」 セミナーと相談会
団体名	松戸生活やくだちたい

## 1. 事業目的と課題の現状及びその効果

人生80歳超の時代、「長生きを前提にした生活設計」が必要不可欠ですが、社会制度が充実する一方で年金・医療・介護の費用や給付は複雑となり、生活設計が難しくなってきました。松戸生活やくだちたいは、生活に夢と目標を持っていて「暮らしとお金」の設計の知識と手段が必要な人に、啓発活動を通して夢と目標の実現をサポートしています。

来年度は、松戸市で約10万人いる50～64歳の今会社で暮らしている人＝まもなく行政を訪れるであろう人を対象に、「日常の家計管理」を切り口として住宅ローンなどを含めた資産・負債管理、老後の生活設計、年金・仕事と生活のバランス、医療・保険など病気・事故への備え、相続についてセミナーを開催し、質問に答える形で相談会を計画しています。

このことが市民自ら考え・具体的に行動することへの支援となり、最終的に「暮らしとお金」の自己解決能力の向上が期待できると思います。

## 2. 申請理由

生活設計の三大要素は、「生きがい」「健康」「経済（家計）」と言われていますが、この「経済（家計）＝暮らしとお金」について、行政機関が実施するものを除き、中立的な立場からの啓発講座や安心して相談できる相談会が非常に少ない現状にあります。

私たち「松戸生活やくだちたい」は、「生活設計・金融・不動産・税金・保険・相続/事業継承」などについての幅広い知識と経験を持つ、松戸在住・勤務のFP（ファイナンシャル・プランナー）で構成されており、中立的な立場から活動できると考えています。

## 3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

セミナーと相談会を年間3回、テーマは別協議の上で進めます。

- ① 平成22年07月 松戸市民劇場 松戸市民 セミナーと相談会 午前・午後
- ② " 11月 松戸市民劇場 松戸市民 セミナーと相談会 午前・午後
- ③ 平成23年01月 松戸市民劇場 松戸市民 セミナーと相談会 午前・午後

## 4. 事業成果の活用と将来展望

今回の松戸市の助成制度利用で、活動するためのやり方・進め方を身につけ、市民から期待される「お金の暮らし」の中立的なセミナーと相談の窓口になっていきたいと考えています。このために行政や民間団体が行う各種啓発事業に出前講座・講師派遣で連携を行っていきます。

将来的には、「ワンストップ」機能を持つ総合相談窓口として、情報と支援を必要としている人に、必要なときに必要な情報を提供できる体制作りを目指し、生活者の自助努力による生活改善を支援し、住みよい街づくりを目指していききたいと考えています。

## 事業の予算計画書

### 【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	参加費(セミナーと相談会)	120,000円	@2,000*20人*3回
	寄付金	24,000円	@1,000*8人*3回
	自己資金合計(a)	144,000円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
収入合計(c)(a+b)		244,000円	

### 【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

### 【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	広報チラシ印刷	48,000円	@1.6*10,000部*3回
	広報チラシ配布	75,000円	@2.5*10,000部*3回
	広告	60,000円	@20,000円*3回
	会場費	16,200円	@5,400*3回
	講師代・資料代	37,500円	@2,500*5人*3回
	通信費・予備費	4,300円	
	対象となる経費合計額(d)	241,000円	
その他	打合せ会議費・交通費	3,000円	@1,000*3回
	その他経費合計額(e)	3,000円	
事業費(f)(d+e)		244,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。